

厚木支部 気楽な散策会 #9 実施報告

「寒川神社」

令和 8 年 2 月 6 日

第 9 回気楽な散策会は、厚木市中心部から見て今年の恵方(南南東)にある「寒川神社」を訪れました。寒川神社は相模國一之宮と称され、全国唯一の八方除けの守護神として約千六百年の歴史を持つ神社です。古くは朝廷をはじめ、源頼朝、武田信玄、徳川家代々、さらに民間と幅広い信仰を受けてきました。本殿に通じる神門には毎年正月に青森のねぶたが掲げられ、今年は「那須与一 勝利の的」のねぶたが飾られています。

参加者は JR 相模線宮山駅に 11 時過ぎに集合しました。ぽかぽか天気の中、10 分ほど歩いて三の鳥居に着きました。うっそうとした林の中を進み、開けたところが神門前の広場です。ここで記念写真を撮りました。その後、各自で参拝・自由散策としました。本当は昇殿祈禱したかったのですが、寒川神社は日本で最も昇殿祈禱者が多い神社で、散策会当日も受付には多くの人達が並んでおり、昇殿はあきらめました。境内には木彫りの神馬と猿の彫刻が納められた神馬舎(しんめしゃ)、天体観測に使用された渾天儀(こんてんぎ)、君が代に歌われているさざれ石などが散在し、思い思いにひと時を過ごしました。



寒川神社神門の今年のねぶた飾りと共に
後列左より、飯島、岡村、島田、田辺
中段左より 原田、時崎、石崎
前列左より 倉林、道海、梶原 各氏

宮山駅に戻り、相模線で香川駅に向かいました。目的地は創業 150 年となる熊澤酒造です。駅から徒歩 10 分弱で着きました。入口となるミモザのアーチを通りすぎると、歴史を感じさせる建物に囲まれた中庭です。季節ごとに様々な花が咲きそうですが、今日は梅が迎えてくれました。

熊澤酒造では古民家レストランでランチセットを頂きました。日本酒の醸造会社ですので、

食事開始前の自由時間に早速試飲を楽しむ参加者も出てきました。日本酒だけでなく、ビール、ウイスキー、ジン、ビール酵母を利用したパンも敷地内で作っており、食前・食中酒に好みの銘柄を注文して料理を堪能しました。特に2月から出し始めたという搾りたての新酒は好評でした。

今回の散策会は好天に恵まれ、上着が要らないほどの暖かさでした。歩いて、見て、食べて、話して楽しい一日を過ごすことができました。次回の散策会開催と出席を約束して散会となりました。



熊澤酒造にて
後列左より 島田、石崎、岡村、原田、飯島、草場
前列左より 梶原、倉林、道海、時崎、田辺 各氏

参加者：横浜支部 草場彰氏(修 45E)、飯島和夫氏(46S)、島田光治氏(50K)
平塚支部 倉林弘行氏(44C)、道海敏幸氏(44TK)、田辺宏氏(修 52P)
厚木支部 石崎一嘉氏(53M)、岡村守之氏(45S)、原田卓氏(修 44K)
時崎孝氏(41K)、梶原護(修 58E)